

平成29年度 地方創生推進交付金に係る事業評価

交付対象事業の名称	事業概要	実施内容	担当課	事業費 (円)	うち 交付金 充当額 (円)	所管課評価	外部有識者の評価
KJブランド創出プロジェクト ～深化バージョン～	○「KJブランド」ブランディング ・K Jブランドの訴求に向けて、地域住民の想いを込めたロゴマーク、キャッチフレーズやパッケージデザインを開発する。	・住民参加型のワークショップを実施し、グループワークを取り入れながらロゴマーク、キャッチフレーズを作成した。 ・ワークショップは27名が参加し、全5回実施。	政策推進課	26,103,864	13,051,932	・町内の若い世代を中心に、活発に議論ながらロゴマーク、キャッチフレーズを作成することができた。	PR動画を始めたとした情報発信ツールは、どう活用するかが重要である。川島町に来てもらうために、どんな情報発信が効果的か検討し、実施してもらいたい。
	○情報発信の強化－K Jブランド専用サイト構築 ・川島町やK JブランドをPRし、興味喚起を促すブランド専用サイトを作成し、町内外問わず広くブランドアピールができる場を構築する。	・K Jブランドの説明や地域の紹介ページを作成し、町外の方が川島町に興味を持つきっかけとなるブランド専用サイトを構築した。 ・平成30年3月より公開。	政策推進課			・「川島町の魅力をPRする」ことを主眼に置いたWebサイトを構築することができた。今後、タイムリーな情報発信を行い、町内外に広く楽しんでもらえるサイトとなるよう更新を図っていく。将来的には、ネット販売を取り扱うサイトとなることを目指す。	
	○情報発信の強化－PR動画の作成 ・川島町の魅力を一つのストーリーとして形づくり、多くの人々に響く動画を制作する。使用場に応じて上映効果を高めるため、長編と短編の動画を作成する。	・ブランド戦略のターゲット層である女性タレントを起用し、「女子旅×食」をテーマにPR動画を作成した。 ・約3分の長編動画は動画配信サイトでの周知用として作成し、約30秒の短編動画はSNSでの拡散を想定して作成した。 ・短編動画は、長編の短縮版と、レシピ動画の2パターンを作成した。	政策推進課			・音楽や動画全体のイメージなど、ターゲット層に好まれる動画を作成することができた。今後は、多方面で積極的に動画を活用し、より多くの方に観てもらえるようPRしていく。特に、短編動画の活用は力を入れていく必要がある。	
	○試食会イベントの開催 ・飲食業界関係者や、K Jブランドのターゲット層である消費者に川島町の農産物や加工品を試食してもらい、川島町の資源の発展可能性を探る。	・飲食業界関係者向けの試食会イベントは、専門誌「料理王国」とタイアップし、シェフが集う交流会にブース出展し、食のプロに川島町の農産物や加工品を試食してもらい川島町の食の魅力を調査した。平成30年1月に、東京、大阪の2会場で実施。 ・ターゲット層向けの試食会は、片瀬江の島海岸で20～30代女性を中心にいちじくジェラートを試食してもらい、PRの場とするとともに、ターゲット層の反応を調査した。平成29年8月実施。	政策推進課 農政産業課			・飲食業界関係者からは、川島町の製品の良さを確認できたことに加え、ストーリーが重要であるということを聞くことができた。また、ターゲット層向けの試食会では、7割以上の方に好評をいただいた。 ・両試食会とも、販路拡大、販売体制の強化が必要であることを再認識したため、調査で得られた製品の品質改良も含めて改善に努める必要がある。	
	○シェフツアー、モニターツアーの実施 ・都内の飲食事業者に来訪してもらい、町の農産物や食品を実際に体験してもらうことで、地域資源の販路拡大につなげる。また、K Jブランドのターゲット層に町内を巡ってもらい、選ばれる立ち寄りエリアを調査する。	・都内飲食事業者向けのツアーでは、プロの視点での食材の試食や生産者との交流を通し、ストーリー性を含めた川島町の製品の発展可能性を調査した。平成29年10月実施。 ・ターゲット層向けツアーでは、20～30代女性が感じる川島町魅力や資源を調査した。平成30年3月実施。	政策推進課 農政産業課			・飲食事業者、ターゲット層の方々とともに川島町の製品を始めとした地域資源の魅力を感じてもらうことができた。飲食事業者には自身の店舗で製品を使用してもらい、販路拡大の可能性を探ることができた。	

地域再生計画に係る重要業績評価指標（KPI）				(参考)
指標	基準値（H27）	目標値（H29）	実績値（H29）	目標値（H32）
KJブランド販売額 (米・いちじく・いちご) (年間)	302,000千円	338,000千円	318,682千円	392,000千円
農産物直売所の売上額 (年間)	303,758千円	340,208千円	313,817千円	394,885千円
新規就農者数 (累計)	1人	4人	10人	50人
新規ブランド品開発数 (累計)	0品	1品	4品	3品